

修正箇所のみ抜粋

名古屋市図書館第1ブロック施設整備方針

令和3年11月
名古屋市教育委員会

1	はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	第1ブロックの現状と課題・・・・・・・・	1
	（1）利用状況	
	（2）主な課題	
3	「なごやアクティブ・ライブラリー構想」で目指す姿 ～市民の生活に寄り添い、役立つ図書館を目指して～	5
	（1）目指す図書館像	
	（2）地域サービス網の形成と新たなサービス	
	（3）これからの図書館に求められるもの	
4	各サービスの方針と特徴・・・・・・・・	10
	（1）アクティブライブラリー	
	（2）コミュニティライブラリー	
	（3）スマートライブラリー	
	（4）貸出・返却ポイント	
	（5）協働運営ポイント	
	（6）自動車図書館	
5	地域サービス館の整備方針・・・・・・・・	16

3 「なごやアクティブ・ライブラリー構想」で目指す姿 ～市民の生活に寄り添い、役立つ図書館を目指して～

現在では、市民の情報入手の方法が著しく変化し、様々な資料・情報を得ることができるようになりました。しかしながら、知識を得るだけでなく、その知識をもとに、自身で判断する力（人としてのチカラ）が求められる時代となり、その意思決定のためには幅広く情報や知識を入手すること、また、生涯にわたって学び続けること（生涯学習）が必要です。

図書館としては、これまでの図書・雑誌・新聞などの資料を収集・整理・保存・提供するという基本的な活動に加えて、新しい時代の流れに対応した取り組みが求められるようになりました。今後は、現在及び将来において必要となる多様な資料・情報の収集・保存に努めつつ、市民一人ひとりに本や情報が利用しやすい環境を整備するとともに、共通の興味・関心・課題を持つ市民同士がつながり、個人や地域の悩みをともに解決できるような「市民の生活に寄り添い、役立つ」図書館を目指します。

（１）目指す図書館像

平成 30 年度に第 1 ブロック内の市民約 3,000 人を対象にアンケート調査を実施しました。図書館の利用について尋ねた結果、月に 1 回以上図書館を利用した人は約 2 割程度であり、残りの約 8 割の人は、「本は買って読む」「図書館が近くにない」「本を

貸本屋のような印象を受けられた市民の方もいらしたため、名古屋市の図書館として目指すべき方向性に、司書の役割を記載しました。

図書館を利用しない、しなくなった理由	名古屋市図書館として目指すべき方向性
「本は買って読む」 「インターネット等で間に合う」	本屋やネットでは出せない良質な本や貴重な資料などの情報提供と活用の支援
「本を読む時間がない」 「図書館が近くにない」 「図書館のある場所を知らない」	わざわざ図書館へ行かなくても身近な場所で利用できる本の貸出返却サービスや電子書籍の充実
「本を読まない、読まなくなった」 「読みたい本がない、古い、汚い」	よく利用される本を中心とした配架や、つい手に取って読みたくなるような展示や紹介
「静かにしないといけない、自由に話ができない」「建物が古い」	会話や飲食ができ、ゆったりと過ごすことができる、居心地のいい空間づくり

今後は、現在、図書館を利用していない方にも図書館を利用してみたいと思っていただくため、様々な市民ニーズに対応していく必要があります。

しかしながら、従来のように各図書館が均一にサービスを提供する方法では、今日的な市民ニーズの全てに、各館が応えることは困難です。そこで、次の表のように、各図書館の機能を分化し、組み合わせることにより、様々なニーズに答えていきます。

③ 市民とのパートナーシップによる図書館事業

地域社会で活動する市民と協働して事業に取り組みます。講座やボランティア活動におけるファシリテート（支援と促進）、市民ワークショップ等を通じ、市民と共に学び合い、成長を続ける活動を行っていきます。

取り組みの具体例	市民ボランティアとの協働 市民との協働による図書館機能の向上（ワークショップ等） 地域サービス館同士の連携（助言・支援）  ボランティアとの協働教室 （親子体験点字教室）  図書館同士の連携 （司書の専門研修）
-----------------	---

（参考）鶴舞中央図書館と地域サービス館の役割

鶴舞中央図書館を中心に各ブロックが連携し、ブロック内にて均一のサービスが行えるよう努めていきます。



鶴舞中央図書館は、各ブロックの統括をするアクティブライブラリー（AL）に対し、各分野の専門性の向上、市民との協働や関係団体との連携といった図書館運営上の技術的指導など、司書としてのスキルアップを目的とした研修を実施します。アクティブライブラリー（AL）は、図書館で活動

学校連携窓口がALに設置されることを明示するため、表現を修正しました。

「身近な図書館でもレファレンスサービスを受けることができないと困る。」というご意見を踏まえ、誤解を解消するため、表現を修正しました。

<地域サービス館の役割>

区 分	貸出返却 ポイント	協働運営 ポイント	自動車図書館 の運営	学校連携 ※2	専門的な レファレンス
AL※1 (ブロックに1つ)	○	○	○	○(窓口)◎	○
CL、SL	○	—	—	△○	＝○

※1 AL に市職員の司書を集約化し、ブロック内において、専門的なレファレンスをはじめ、様々なサービスを実施します。

※2 AL に学校連携窓口を設置し、学校図書館の活動を支援するとともに、CL、SLにおいても、学校と連携した活動を行います。

(2) コミュニティライブラリー

方針1	みんなが快適に過ごすことができる図書館 ● ゆったりと読書を楽しむことができる空間 ● ボランティアの活動や親子での利用など、ニーズに合わせたエリア
方針2	本や情報との出会いや、新たな学びの楽しさを伝える図書館 ● 利用者のニーズに応えたポピュラーな資料を提供 ● 民間ならではのアイデアを盛り込んだ取組みを実施
特徴	● よく利用される小説、実用書、児童書等を中心に配架します。 ● 閲覧スペースは書架の高さを低くするなど、ゆったりとさせます。 ● 複合施設に設置等する場合は、共用部分や学習スペース・活動交流スペースの一部を図書館外に設定することを検討します。
面積	700 m ² 程度
参考	<u>名古屋市図書館の事例</u> ● 合築施設との共用（徳重図書館） 合築施設である地区会館を活用し、講座やイベント等、さまざまな行事を行っています。 <u>他都市の事例</u> ● 読書と憩いの場、図書館内のカフェショップ（宮崎県都城市立図書館） 蔵書数が減り、小規模な図書館となることを心配される方もいらしたため、蔵書については、選りすぐりの本ばかりとなり、むしろ、本を探しやすくなるというメリットについて記載しました。 

(3) スマートライブラリー

方針1	利便性の高い効率的な図書館 ● 駅周辺等の利便性の高い立地による短時間での利用 ● 予約本の受取から返却までセルフで行えるスムーズな貸出返却
方針2	ニーズの変化に即応できる図書館 ● 新鮮度を重視した選りすぐりの資料を提供 ● 開館時間のフレキシブルな設定や ニーズに合わせた、探しやすく手に取っていただく館内展示
特徴	● 受入5年以内の比較的新しい蔵書を中心に、ニーズに合わせて配架します。 ● 一定規模の書架と閲覧・貸出機能を持ちます。 ● 複合施設内への設置を原則としており、学習室などの 必要なスペースを、調整により可能な場合に、施設内の図書館外に設定確保することを検討します。 ● 小回りの利く展示替えで利用者のニーズの変化に対応します。
面積	300 m ² 程度
参考	<u>他都市の事例</u> ● 駅前立地を生かした蔵書と運営（神奈川県大和市立中央林間図書館） 駅至近の商業施設内に立地しており、学生や通勤途中の利用が多いという特性に配慮した蔵書構成とし、夜遅くまで運営しているほか、特徴的な書架をレイアウトし、来館者の興味を引く展示を行っています。 スペースに不安を感じる意見もあるため、「調整により可能な場合に」を削除し、必要なスペースを確保する方針である旨記載しました。 

スマートライブラリーをより理解いただくため、追記しました。

(参考) 従来の区分館と各地域サービス館の目指す姿との比較

	従来の区分館	アクティブライブラリー
蔵書数	約 10 万冊	約 15 万冊 ※
蔵書内容	全分野、幅広く収集	幅広く収集 (課題解決のための専門資料を含む)
運営	直営	直営
性質・ねらい	均一性	専門性、深い学び
メイン ターゲット	区民 実際の利用者は、 常連・近隣住民が多い	・課題解決のため、専門的な調査をしたい人 ・新刊、話題の本を手にとってみたい人 【ほんシェル樹(一定の期間、貸出をしない本棚)】 ・図書館ならではの本との出会いを求める人【ミツカル本棚】 ・本を通して交流がしたい人 【ツナガル本棚】 ・自分の持つ知識を交換しあい、持続的に学びたい人【トモニマナブ広場】
閲覧スペース	余裕がありません	ゆったりした空間(一部予約制)
集会室 等	あり(一部の館はなし)	あり(目的別)
実施事業	均一的なサービス	・直営司書による企画事業 ・自動車図書館による出張 ・協働運営ポイントの運営 ・学校連携

※蔵書について、今後は、紙の本に加えて、電子書籍の充実を図っていきます。

＜コロナ禍を踏まえて、今後検討するサービス等＞

図書館へ来館することなく、自宅で図書サービスを利用したい人

⇒

貸出・返却手続時の接触を減らし、感染リスクを軽減したい人

⇒

図書館内の本や資料を清潔に気持ちよく利用したい人

⇒

図書館へ不安なく来館して、安心して利用したい人

⇒

蔵書数に不安を感じられる方もいらしたため、
蔵書数とは別に、電子書籍を充実させていく方針である旨を記載しました。

コミュニティライブラリー	スマートライブラリー
約5～7万冊 ※	約1～4万冊 ※
よく利用される本が中心	新しい本が中心（受入5年以内）
民間活力の活用	民間活力の活用
快適性、読書や学びの楽しみ	利便性、気軽な利用
スマートライブラリーは、駅近くでの貸出返却だけを目的とした図書館ではなく、ニーズに合った選りすぐりの本を提供する図書館であるため、幅広い層の利用者に気軽に便利に利用していただけたと考えています。メインターゲットの表現を修正し、スマートライブラリーの魅力が正しく伝わるようにしました。	
・家族みんなでゆったり読書を楽しみたい人 ・おしゃべりしながら読書を楽しみたい人 ・図書館ならではの本との出会いを求める人【ミツカル本棚】 ・魅力的なイベントを楽しみたい人 ・図書館で気軽に学びたい人（講座・セミナー）	・本を手にとって選び、貸出や返却 だけできればよいを気軽にしたい人 ・複合先の施設をも合わせて利用 するしたい人 ・通勤や通学の途中に立ち寄 るりたい人 ・ ニーズに合った選りすぐりの本を楽しみたい人
「必要最低限」という表現により、スマートライブラリーは読書を楽しむことができない図書館であるといった誤解された方もいらしたため、表現を修正しました。	
ゆったりした空間	必要最低限一定規模 （共用部分も活用）
あり（一部は共用部分）	なし（共用部分 に可能であれば設置を活用 ）
・民間活力を活用した事業	・民間活力を活用した事業
スペースが確保されるかを不安に感じられる方もいらしたため、「可能であれば設置」という表現を削除し、必要なスペースを確保する方針である旨を明記しました。	

- 【宅配サービス、インターネットサービス（オンラインでのレファレンス等）】
- 【セルフ貸出返却や貸出ボックスの設置】
- 【消毒等の徹底、図書除菌機の導入】
- 【安全面に配慮した施設（ゆとりある空間、換気の徹底）】

5 地域サービス館の整備方針

第1ブロックのアクティブライブラリーは、交通の便がよく、にぎわいのある商業施設があるなど、多くの利用者が見込まれる星ヶ丘に整備します。

その上で、ブロック内の各館や他の公共施設の状況を踏まえて、コミュニティライブラリー、スマートライブラリーの整備を進めます。施設の老朽化が進んでいる図書館について、改築を行う場合には、複合化を原則として整備します。

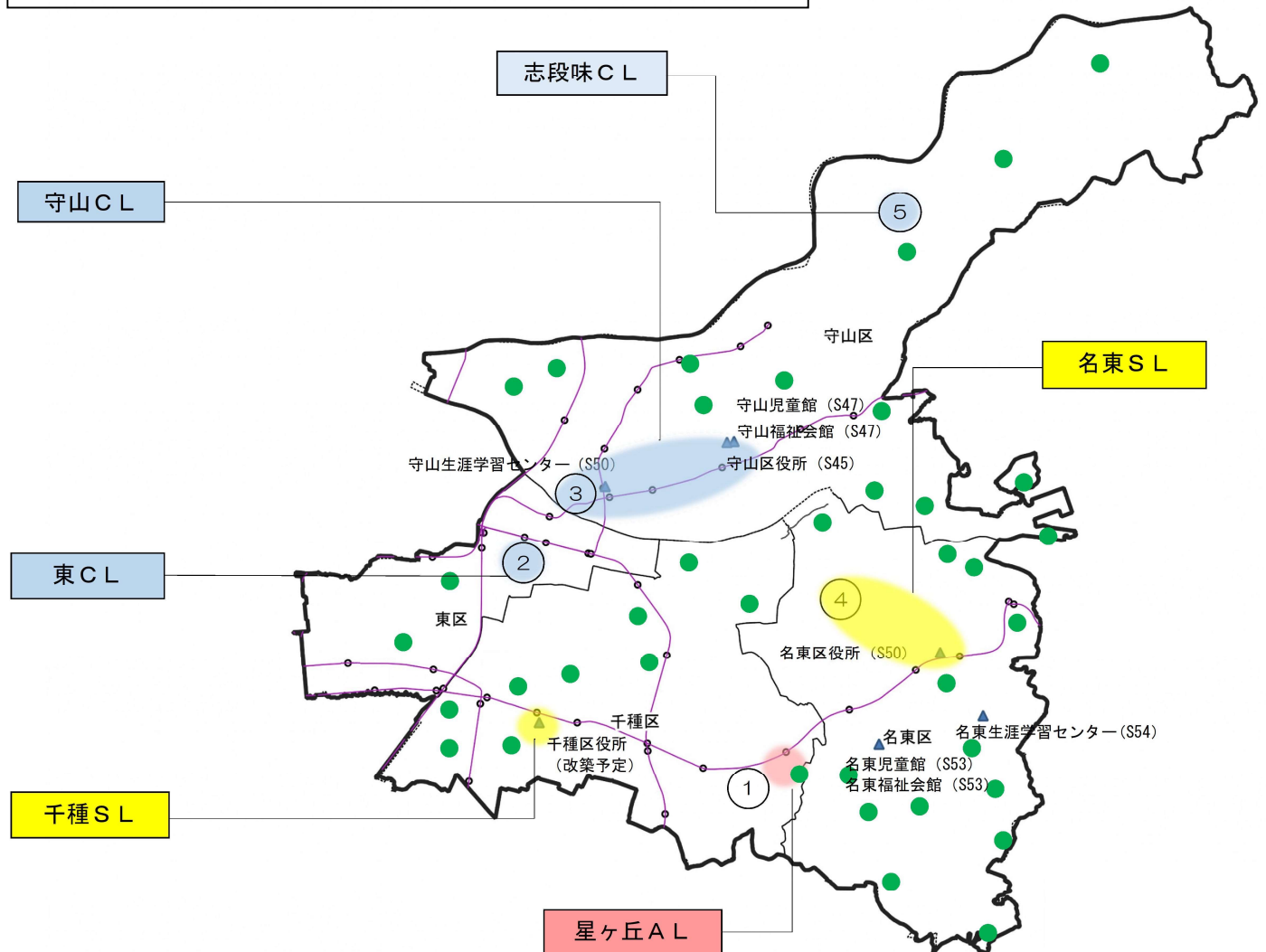
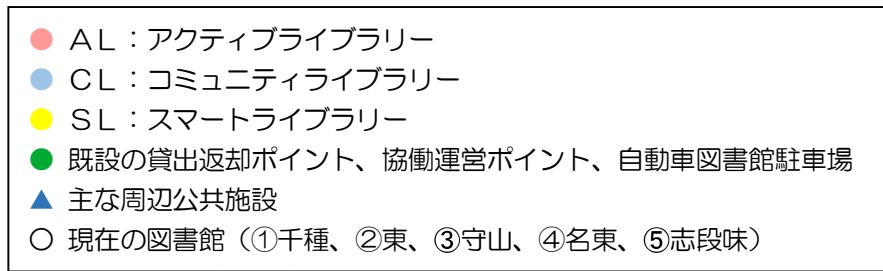
また、比較的新しい図書館は、当面現状のまま運営し、今後、老朽化した際のリニューアル改修等に合わせて整備します。各地域サービス館の整備に関する基本的な考え方を以下に示します。

区 分	基本的な考え方	第1ブロックの整備方針
アクティブライブラリー	●各ブロックに一つ整備します。 ●利用が多く見込める場所へ整備します。 例：にぎわいのある商業施設、大学や高等学校が集まる地域、交通の便がよい駅の周辺 ●面積は2,000㎡程度とし、単館としての整備だけでなく、複合化による整備や民間施設へのテナント入居など、様々な手法を検討し、最適な手法で整備します。	●星ヶ丘駅周辺に新たに整備
コミュニティライブラリー	●複合化による整備の場合は、図書館と相性の良い施設とし、諸室の相互利用による合理化を目指します。 ●民間施設へのテナント入居の場合は、学習室や集会室等の機能を共用し、保有資産としないことを目指します。（他施設との連携を積極的に図り、単なる合築施設ではなく、機能の融合を目指します。） ●現施設のリニューアル改修等の場合は、民間活力による既存施設を活用したリノベーションにより、施設の有効活用を図ります。 ●面積は、700㎡程度（＋共用部分）とします。	●東図書館の今後のリニューアル改修等に合わせて整備 ●守山図書館について、周辺の立地特性や区内公共施設の再編状況を勘案しつつ整備 ●志段味図書館の今後のリニューアル改修等にに合わせて整備
スマートライブラリー	●交通の便がよい場所に整備します。 ●集会室等は原則設置しませんが、複合化による整備や民間施設へのテナント入居の場合は、可能であれば、学習室や集会室等の機能を共用することを検討します。 ●現施設のリニューアル改修等の場合は、民間活力による既存施設を活用したリノベーションにより、施設の有効活用を図ります。 ●面積は、300㎡程度（＋共用部分）とします。	●千種区役所等複合庁舎内に整備 ●名東図書館について、周辺の立地特性や区内公共施設の再編状況を勘案しつつ整備

※ 地域サービス館への移行については、現面積を増加させないようにします。運営の向上を目指します。

スペースに不安を感じる意見もあるため、必要なスペースを確保する方針である旨記載しました。

第1ブロックの施設配置図



貸出返却ポイント、協働運営ポイント、自動車図書館駐車場は、ブロック運用とあわせて、順次充実させていきます。
 なお、施設の整備については、既存施設の改修等の時期を捉えて実施することから、今後の市民ニーズや人口動態など社会状況の変化を踏まえ、必要に応じて見直しを行うとともに、具体的な施設整備を進めていく場面においては、事前に地域の意見を聞くなどして、市民から愛される施設を目指します。

今後とも地域からの意見聴取に努めることについて、ご要望をいただいたため、追記しました。